

ハビエル・エチェバ リーア司教は属人区 長座教会の地下聖堂 に葬られました

エチャバリーア司教は、福者
アルバロ・デル・ポルティエー
リョとドラ・デル・オヨと一
緒に、属人区长座・平和の聖
母教会の地下聖堂に眠ってい
ます。埋葬と葬儀ミサをまと
めるビデオも（2分50秒）。

2016/12/14

ハビエル・エチェバリーア司教が納められた棺は午後3時45分に閉じられました。属人区長は紫色の祭服を身にまとい、司教の指輪をはめ、胸には十字架を付けていました。2日間にわたり、数千人の信者たちが遺体の前で祈りを捧げました。その間、遺体は、属人区長座教会の聖堂内で、オプス・デイ創始者・聖ホセマリアが眠る棺の前に安置されていました。

棺が閉じられた時にその作業を見守っていたのは、属人区長の統治を支えた男子と女子の中央委員会に属する人々でした。棺の上部には銀色の十字架像と、属人区長の氏名と年代「1932 - 2016」を刻んだ碑板がはめられていました。

午後5時、埋葬に先立つ葬儀ミサが捧げられました。属人区長が不在であるため、聖堂内の属人区長座は空席のままでした。ミサの説教で、

フェルナンド・オカリス師は、「エ
チェバリーア司教は、信仰によって
真に神の子であると、深く感じてい
ました。この自覚によって、身体的
なものも含めた、様々な困難や苦し
みを克服できたのです。愛徳を自ら
実行し、兄弟愛をいつも生きるよう
にと急き立てるように励ましてくだ
さいました。『互いに愛し合いなさい』
といつも繰り返していました。そし
て、私たちも望んでいる天国の約
束に希望を置いていました。信仰、
希望、愛を生きる者にとって、た
とえ大きな悲しみに見舞われたと
しても、それは軽くなるでしょう。
キリストが担ってくださるからで
す」と述べました。また、「聖ホセ
マリアと福者アルバロに奉仕した彼
の生涯、さらに、オプス・デイを導
いた22年間の奉仕の生涯について感
謝しなければなりません。仕えられ
るためではなく仕えるために来られ
た主の模範に従ったのでした」と語
りました。

続いて、8名の司祭が棺を地下聖堂へ運びました。エチェバリーア司教の墓は、福者アルバロ・デル・ポルティエリヨの墓と祭壇の間に位置しています。オカリス師が死者のための祈りを捧げた後、棺は墓に埋葬され、その上を石板で閉じました。

埋葬後、属人区長座教会は通常の活動に戻りました。当教会は、午前8:30から午後2時まで、および午後5時から午後8時30分まで開かれています。12月15日、午後7時に、聖エウジェニオ大聖堂（ローマ）において、ハビエル・エチェバリーア司教の永遠の安息を祈るミサが捧げられました。